

パネル討論：Java とデータベース

田中克己（オーガナイザ）
神戸大学大学院自然科学研究科知能科学専攻
tanaka@in.kobe-u.ac.jp

Java は、ネットワークプログラミング言語またはモバイルコードプログラミング言語として現在多くの注目を集めている。特に、その機種独立性の高さ、WWWでのインタラクティブ性の向上、オブジェクト指向技術に基づく再利用性の高さなどが注目を集めている。また、JDBCのように関係データベースシステムとのプログラムインタフェースの規格も定められ、これによって、データベースの応用開発のスタイルが大きく変わる可能性を秘めている。さらに、Java と、分散オブジェクト管理技術との融合の試みも各地で開始されており、次世代 web 技術を展望する上で極めて重要な技術とも位置づけられる。

本パネルでは、Java とデータベースインタフェース、Java によるデータベースアプリケーション開発、3次元空間での Java 開発環境などの観点からパネリストに話題提供をしていただき、これをもとに、Java がデータベースにもたらす影響や可能性について討論を行う予定である。

